国有林野所在市町村の魅力紹介

秋田県能代市

米代西部森林管理署

能代市は木材産業が盛んで、かつて「東洋一の木都」と称されていました。この時代を象徴する建物が「旧料亭金勇」です。昭和12年に迎賓館として建てられ、平成10年には国の登録有形文化財に登録、平成21年に市に寄贈されました。天然秋田杉を贅沢に使った上品な造りとなっています。

旧料亭金勇

能代市の名所の一つに「風の松原」があります。東西幅１km、南北総延長14km、面積約760haで東京ドーム約163個分の広さです。能代はその昔、飛砂による被害が多く、先人達の尽力によって植林され、育てられた700万本ものクロマツは、現在も厳しい海風や飛砂からまちと人々を守り続けています。その一部は、市民の散策、ジョギング、憩いの場として利用されています。

風の松原

ところ変わって、能代市二ツ井町には天然秋田杉の保護林があります。18.46haの林内には平均樹齢250年、約2,800本の天然秋田杉が立ち並んでいます。中には、天然秋田杉として日本一の高さを誇る「きみまち杉」（高さ58m、直径164cm）もあり、気軽に散策・見学することができます。

仁鮒水沢スギ希少個体群保護林

最後に「道の駅ふたつい～きみまちの里～」です。平成30年７月にリニューアルオープンした建物には木材がふんだんに使われています。また、歴史・民族資料コーナーは、米代川を中心に発展した歴史文化や木材産業、道の駅周辺の動植物の紹介のほか、中央部ガラス張りの床には、樹齢約850年の杉の埋もれ木が展示されており、訪れる人々の興味を引きつけます。周辺には桜やツツジ、紅葉の名所「きみまち阪」、対岸には軽登山や散策ができる「七座山」、カヌーの川下りが体験できる「米代川」など見所満載です。

道の駅ふたつい（杉の埋もれ木）

問い合わせ先：●能代観光協会 Tel.0185－88－8802　●二ツ井町観光協会　Tel.0185－73－5075